

建築ヲナサシムルコト

一、從來ニ於ケル町村醫ヲ改メ町村醫ニ對シ相當ノ俸給ヲ支給シ醫藥全部ハ町村費ヲ以テ支出シ住民ヨリ直接醫藥ノ費ヲ支出セシメス町村費ヲ以テ徵收セシムル様ナサシムルコト
本縣小笠原會我村調査ニ於ケル住民一戸平均醫藥ニ要セシ費用ハ十三圓二十二錢ニシテ總戸數四百一戸ニ對シ總額五千二百八十九圓餘ヲ出セリ今之レヲ比較スルニ於テモ尙充分ナル町村醫ヲ以テ直接醫療ニ當ラシムルコトヲ得
産婆、看護婦等モ町村産婆、看護婦ヲ設ケ町村費ヲ以テ負擔セシムルヲ可トス然ルトキハ乳兒死亡率ヲ減少セシムルコトヲ得ンカ右ニ對スル指導監督ハ直接地方廳ニ於テ之レヲ行ハシムルコト

(二八) 山 梨 縣

- 一、衛生思想ヲ鼓吹シ之カ普及發展ニ努ムルコト
- 二、善良ナル飲用水供給ニ努ムルコト
- 三、各種運動ヲ獎勵シ之カ勃興ヲ計ルコト

四、寄生蟲ノ驅除豫防ニ努ムルコト

五、糞尿ノ完全ナル處理ヲ講究シ之ヲ無害ニ處置スルコト

六、産婆看護婦ノ普及ヲ計リ分娩産褥及育兒ニ關スル衛生觀念ヲ扶殖シ各種疾病ニ對スル看護ヲ完全ナラシムルコト

以上ハ地方的ニ改善發達ヲ要スル事項ニシテ之カ實行ニ努力シ漸次其ノ成績ヲ擧ケツツアリ
七、衛生組合ノ活動ヲ敏活ナラシムルコト

衛生組合ノ改善ニ關シテハ既往數年間ニ於テ屢々企テラレタル處ナルモ現在ニ於テハ殆ント有名無實ノ一機關タルヲ免レス寧ロ一般衛生ニ對シテハ其ノ他ノ團體(青年團、處女會、消防組等)ヲ活動セシムルノ有利ナルニ如カサルノ現況ニ在リ故ニ之カ活動ヲ促サムト欲セハ現行傳染病豫防法ノ一機關トセス廣ク一般衛生ニ携ハルノ機關(例ハ農會法、消防組規則ノ如キ)タラシメ一種ノ「クラシムル」トシテ治療及豫防方面ニ携ハシムルハ都市、農村ヲ通シテ保健狀態改善上意義アルモノト思料ス

八、醫學專門學校ヲ増設シ以テ醫師ノ普及ヲ計リ獨リ治療方面ノミナラス豫防ト保健方面ノ開拓ニ努メシムヘキコト

現今醫師ノ分布狀態ヲ案スルニ其ノ多クハ都會ニ集注シ農村ハ捨テテ顧ミラレサルノ現況ニ在リ一

般住民モ亦然ルモノ在リ

近時農村ノ疲弊困憊ハ其ノ極ニ達シ殊ニ山間僻邑ニ在リテハ醫藥ハ勿論賣藥スラ充分ノ供給ヲ受クル餘地ナキノ狀況ニ在リ

疾病ノ都度醫師ヲ聘スルノ不經濟ヲ知り萬事ヲ放棄シテ醫師ヲ常置セムトシテ有利ノ條件ヲ案シ千金ノ補助ヲ以テスルモ之ニ應スルノ醫ナク地方廳經濟力又之ニ施スノ實ナク漸ク地方廳ノ醫師ヲシテ「トラホーム」及結核檢診ノ餘力ヲ以テ年ニ一回一週間位滞在診療ヲ爲スノ近況ニ在リ翻テ我國醫師ノ統計ニ徵スルニ明治九年ノ醫師一人ニ對スル人口ハ一、〇九八・一人明治十一年ヨリ同二十二年ニ至ル最低九〇〇・餘人ヲ除キテハ各年ヲ通シ一、〇〇〇人以上一、三〇〇・餘人ノ多キニ昇リ山岳重疊タル本縣ノ如キハ明治十三年ヨリ大正ニ至ル最低一、二五九・六人ヲ下ラス最近兩三年ニ於テハ二、〇〇〇・餘人ノ多キニ及ヒ加フルニ醫育機關ノ昇格ニ伴ヒ従前ノ報酬ヲ以テシテハ到底醫師ヲ得ルノ途ナキニ至リ豫防保健ノ方面ハ勿論治療方面ノ充實スラ企及スヘクモ非ラス此ノ需要ニ對スル供給ハ醫學專門學校程度ノ學校ヲ増設シ以テ質ノ向上ト量ノ増加ヲ計リ開業醫師ノ分布ヲ圓滑ナラシメ一面若シ過剩アル場合ハ之ヲ豫防保健ノ方面ニ配置スルハ農村保健ノ最善方策ナリト思料ス

(一九) 滋賀縣

一、衛生組合ノ進則ヲ改メ急性法定傳染病豫防事項ハ元ヨリ慢性傳染病等ノ豫防ヲ講セシムルシ外體育獎勵其ノ他一般保健衛生ノ設備ヲ爲スヘク規定スルコト

一、青年團、處女會等ニハ一年一回以上バ必ス衛生ニ關スル講習、講話ヲ聴取セシムルコト

一、小學校父兄會ニハ必ス衛生ニ關スル事項ヲ加フルコト

一、衛生實行ノ週間又ハ腸内寄生蟲驅除等ヲ實行セシムルコト

一、産婆、看護婦ノ居住セサル町村ニハ之レカ設置ヲ爲サシムルコト

一、村醫ノ待遇(形式上又ハ物質上)ヲ向上シ一般衛生ニ關スル諮問ヲ爲スノ外村醫ニ於テ之カ發動者タルヘキコトヲ規定スルコト

一、家屋ノ新築又ハ改修ノ際ニハ便所、井戸、下水、溝、汚水溜等ノ構造配置ニ付町村役場又ハ警察署ノ認可ヲ受クル様規定スルコト

一、郡市醫師會ハ會員ノ居住セル市町村ノ衛生改善ニ關スル意見ヲ徵シ郡内共通ノモノハ郡役所、警察署ヲシテ町村一齊ニ之カ改善勵行ヲナサシメ其ノ町村特有ノモノモ同様ノ手續ニ依リ改善セシムルコト

一、農村保健衛生狀態ノ改善

農村保健衛生狀態ノ改善方法トシテ刻下急務ト認メラルルハ

(1) 住宅構造ノ改善

農村ニ於ケル住宅ノ建築ハ概ネ軒低ク庇長シ從テ光線ノ射入不完全ナルト尙敷地等ニ至ツテハ耕作地ニ重キヲ置クカ爲メカ濕地若ハ換氣、光線ノ良好ナラサル場所多ク殊ニ甚シキハ住宅内ニ牛馬ノ厩ヲ設ケアルカ如キハ最モ憂フヘキ現象ナリトス此等ハ徹底的保健衛生ノ趣旨ヲ諒解セシメ土地ノ選定住宅ノ改築ヲ必要トス

(2) 榮養素攝取ノ獎勵

農村ニ於ケル食糧ハ主トシテ粗食ナルト一面動物性蛋白ヲ攝取スルコト極メテ稀ナリ這ハ畢竟經濟問題ニ關スルモ中ニハ封建時代ノ遺習又ハ宗教的感念ニ依リ榮養素ヲ攝取スルハ一ノ罪惡ノ如ク思惟シ或ハ勤儉節約ノ意味ヲ穿キ違ヘ相當ノ資力ヲ有スル者モ好ンテ粗食ヲ爲ス等榮養素ノ不足ヲ生シ爲メニ保健狀態ヲ害スルコト多キ現況ナルニ依リ食糧ノ改善ハ最モ緊要事ナリトス

(3) 育兒觀念ノ普及

現今農村ノ婦女子間ニ於ケル育兒觀念ノ極メテ淺薄ナルハ農村ニ於ケル乳兒死亡率ノ高キヨリ觀察スルモ明カナリ此等ハ畢竟其ノ業務ノ關係等ヨリ來ルモノアルモ近時工業界ノ發展ニ連レ工場ニ出稼スルモノ其ノ數益々多キヲ加ヘ彼等カ家庭的氣分ハ漸次減退シテ職業的氣分ト變シ其心身ニ來ル衛生上ノ影響ハ極メテ大ニシテ延テハ育兒ニ關スル思想ヲ缺クニ基クモノ多シ故ニ之カ思想普及ヲ急務トス

(4) 寄生蟲ノ驅除勵行

現今農村ニ於ケル寄生蟲ノ蔓延ハ殊ニ甚シク蛔蟲ノ如キニ至リテハ七〇%ノ卵保有者ヲ出シ看過スヘカラサルノ實況ニシテ之カ保健衛生ニ影響スル所尠カラス驅除勵行ハ刻下ノ急務ナリトス

(5) 水質改良

水質改良ハ保健衛生ノ根源ナルモ現今農村ニ於ケル飲料水ハ構造不完全ナル普通井戸或ハ清濁常ナラサル泉水、溪水、河水ヲ使用スルモノ大部分ヲ占ムルヲ以テ本縣ニ於テハ明治四十五年以來技術員ヲシテ水質検査ヲ勵行セシメ一面大正六年以來飲料水改良費補助規則ヲ設ケ極力之カ改善ニ努メツアルノ實況ニシテ保健衛生狀態ノ改善ニ關シテハ缺クヘカラサルモノト信ス

(6) 醫師ノ分布

醫師分布ノ如何ニ依リ保健衛生上ニ及ホス影響ノ多大ナルハ言ヲ俟タサル所ナリ然ルニ現時ノ趨

勢ハ農村ニ於ケル開業ヲ好マヌ都會集中ノ傾向アルカ爲メ醫師ナキ僻村ニ在リテハ一朝疾病ニ侵サルルヤ數里若クハ十數里ノ道ヲ驅クルニアラサレハ醫療ヲ請フ能ハサル結果遂ニ機ヲ失シ天壽ヲ全フスヘカラサルノ運命ニ陥ルモノアルハ事實ノ證明スル所ナリ此等ノ救濟方法即チ醫師ノ分布ヲ圓滑ナラシムルヲ最モ必要ト認メ本縣ニ於テハ明治四十五年僻阪村醫設置費補助規則ヲ設ケ爾來僻阪村醫設置村ニ對シ年額二百圓乃至五百圓ヲ補助シツツアルノ其ノ招聘ニ應スルモノ極メテ尠ナク苦慮シツツアルノ實況ニシテ之カ萬全ヲ期スルニハ深甚ナル考慮研究ヲ要スルモノト信ス

(7) 産婆ノ普及

醫師ト同シク産婆普及ノ如何ニ依リ保健衛生ニ及ホス影響尠カラス然ルニ現今農村ニ於ケル趨勢ヲ見ルニ開業産婆ハ殆ント都會ニ集中シ之カ爲メ一名ノ開業産婆スラ得ルコト難ク隨テ妊婦産婦産兒乳兒ノ處置不完全ニ起因シ母體及生兒ノ不健康ニ陥ルモノアルハ最モ遺憾トスル所ナリ故ニ是等農村ニハ公設産婆ヲ設置スル等其ノ缺陷ヲ補フヘキ施設ヲ講スルヲ實益アリト信ス

(8) 入浴奨勵

吾人ノ入浴カ保健衛生看過スヘカラサルハ言ヲ俟タサル所ナリ然ルニ現今山間部落ニ於ケル實況ハ年中二、三回ノ入浴ニシテ甚シキニ至ツテハ一回タモ爲ササル所アルハ最モ遺憾トセサルヘカ

ラス是等ハ畢竟、習慣並衛生思想ノ幼稚等ヨリ來ル現象ト認メラルルニ依リ衛生思想ノ普及ヲ圖ルト同時ニ其惡習慣ヲ打破セシムル方法ヲ講シ一面公設浴場ヲ設置スル等之カ入浴ヲ容易ナラシムルヲ最善策トス

(三) 長野縣

一、衛生思想ノ普及啓發

農村住民カ衛生思想ノ低劣ナルコトハ到底都會地住民ノ比ニアラス之レ衛生各般ノ事業改善ノ遅々タル最大原因ニシテ之レカ啓發ハ新シキ事項ニアラスト雖モ交通ノ便乏シク一面經費ノ許ササル等未タ其ノ徹底ヲ期シ難キ憾アリ最近諸有宣傳用ニ活動寫眞ヲ利用スルコト頗ル多キニ徴シテ衛生思想ノ普及モ亦之レニ凭ルコトノ有効ナルハ言ヲ俟タス去レト衛生ニ關スル劇等ヲ脚本トシテ一般ノ感興ヲ惹キ深刻ナル印象ヲ與フルモノハ極メテ稀ナルト共ニ之レヲ購入シテ廣ク觀覽セシムルニ必要ナル經費ノ乏シキニヨリ之レカ普及徹底ヲ缺クノ情況ナルヲ以テ曾テ貴局ニ於テ御計畫ノ寄生蟲驅除ニ關スル懸賞脚本ヲ募集セラレタルカ如ク保健衛生ノ各般ニ亘ル同様ノ懸賞脚本ヲ募集セラレ以テ普ク農村ニ活動寫眞トシテ映寫セシムルノ得策ナルヲ信ス又一地方廳所有ノ活動寫眞ハ其種類ニ限リアリ且一度ハ其ノ地ノ觀覽ニ使用シタルモノナレハ再度之レヲ繰返スコトノ不利ヲ見ルヨリ

モ可成聯合府縣ノ協定ニヨリ彼我之レヲ交換スルコトモ一方法カト思料ス又小學校生徒ニ知識ノ注入ハ最モ肝要ナルヲ以テ國定教科書ニ保健ニ關スル事項ヲヨリ多ク挿入スルコトニ文部省ニ交渉セラレムコトヲ望ム

次ニ輓近保健問題トシテ社會ノ注目ヲ惹キツツアル乳兒、幼兒ノ死亡減退運動ニ關シテ此憂慮スヘキ現象ハ其ノ原因スル所政治、經濟、財政、社會、宗教等種々アリト雖モ一家ノ經濟ヲ擔任シ子女保育ノ責ニ任スヘキ婦人ヲ覺醒セシムルコトハ焦眉ノ急務タルト共ニ衛生凡テノ事項ニ關シテモ日常外ニアリテ活動ヲ餘義ナクセラレツツアル男子ハ自然保健ニ耳ヲ傾クルノ暇ナキヲ思ヒ之ヲ償ハシカ爲ニ婦人ニ衛生思想ヲ普及スルハ最モ効果アルヲ信ス

一、參考

本縣ニ於テハ本年二月ヨリ三月末迄縣下四十四ヶ所ニ於テ一ヶ所二日間主トシテ婦人ニ必要ナル科目ニ就キ講習會ヲ開催シ一ヶ所多キハ一千百人少ナキモ三百人ヲ下ラス聽講人員實ニ二萬六千六百七十一人ノ多キヲ算シ豫想外ノ良成績ヲ擧ケタリ之レカ期間中本廳ノ指定シタル箇所外ノ町村ヨリ開催申込ヲ爲スモノ拾數ヶ所ニ及ヘルモ講師ノ差遣旅費其ノ他經費ノ關係上之レニ應スル能ハサルヲ遺憾トセリ去レト毎年之レヲ實施スル見込ナルヲ以テ順次他ノ町村ニ及ホシ縣下廣キニ亘リテ開催ノ見込ナリ

二、保健衛生調査方法ニ就テ

本項ニ關シテハ其ノ都度報告シツツアル所ナルモ現在ノ方法ハ調査事項甚ク廣汎ニ亘リ假令保健上望マシカラサル事項ヲ發見スルモ之レカ改善容易ナラサルモノ不尠申ス迄モナク保健ノ事業ハ其ノ地財政ノ貧富交通ノ完否人智ノ程度慣習ノ如何ニ至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ改善上幾多ノ困苦之レニ伴ヒ中ニハ殆ント不可能ノ嘆聲ヲ漏スノ止ムナキ事實モ存スルヲ以テ理想ニ於テ勝ルトモ實現ノ困難ナル事項ハ漸ヲ追フテ後日ノ機會ニ譲リ先ツ實現可能ノモノノミニ向ツテ部分的ニ努力スルヲ得策ナリト信ス故ニ保健調査事項モ可成縮少シ差當リ人體寄生蟲ノ検査驅除飲用水質ノ検査改良住民ノ健康診斷ニヨリ特種ノ體質疾病ヲ究メ住民ノ死亡率就中乳兒幼兒ノ死亡率之レニ伴フ婦人ノ體質勞働ノ種類時間等ヲ周到調査シ場合ニヨリテハ各町村ニ調査ノ義務ヲ負ハシメ之ニ要スル費用ハ國縣費ヲ以テ幾分ヲ補助シ而シテ可及的短年月間ニ一地方廳管下住民全部ノ調査ヲ終了シ進シテ之レヲ全國的ニ統計觀察スルニ於テハ現在以上ノ効果アルモノト信ス

本件ニ關シテハ今後ノ調査方針ニ關係ヲ有スルヲ以テ貴局ノ御意見承知致度

三、寄生蟲ノ驅除

從來實施シ來タル保健衛生調査ノ結果ニ徴シ農村住民ニ八十五%乃至九十%ノ蛔蟲寄生蟲卵保有者ノ存スルコト明カナリ之レニ對シテハ驅除劑ヲ交付シ速ニ之レガ驅逐ヲ爲スヘク督勵シ來タリタル

モ調査ハ一小部分ニ止マリ縣下全住民ニ對スル調査ハ勿論其ノ驅除ハ到底不可能ナルヲ以テ來年度ニ於テハ之レカ驅除ヲ市町村ニ命シ其ノ一部ヲ縣費ヨリ補助スヘク目下考究中ナリ

四、醫師及産婆ノ普及

獨リ保健上ニ拘ハラズ防疫ニ關シテモ醫師ノ分布ヲ考慮スルコトハ第一要件ナリ去レト醫師其ノ他産婆等ノ療屬機關ト雖モ自己ノ業務擴張ヲ計ラムトセハ勢ヒ市街地若クハ人家稠密ノ場所ヲ選フニ至ルハ已ムヲ得サル所ナレハ自然村落農村ハ之レカ機關ヲ需メムトスルモ難キ實情ニアリテ之レヲ普及セムトスルニ於テハ市町村ニ於テ公費ヲ以テ設置スルニ如カス本縣ニ於テ最近漸ク其ノ傾向ヲ見ルニ至リ未タ縣費補助ノ制度ナキモ既ニ村費設置ノモノ及之レヲ設置セント欲シ醫師推動ヲ依頼シ來レルモノ四、五ヶ村アリ將來ハ之等ノ施設ニ對シ縣費補助ノ制定スルノ必要アルヲ認メ居レリ

五、市町村ノ衛生豫算編成ニ關スル缺陷

市町村ニ於ケル衛生費豫算ヲ見ルニ極メテ少額ニシテ何等施設トシテ足ルモノニアラス一朝傳染病ノ發生ニ及ンテ必要ナル豫算ヲ臨時編成スルコトカ現在各市町村ニ於ケル實況ナリ偶市町村當路者ノ豫算ヲ計上セムトスルモ他方勸業土木等ノ必要事項多キタメ豫算編成ノ當初ハ單ニ款項ノ保存ニ過キサルノ觀アリ最モ近來市町村ノ財政ハ比年膨脹シ地方住民ノ課稅負擔過重ノ聲喧シキニ際シ進ンテ多額ノ豫算ヲ希望スルコトノ酷ナルヲ思ハサルニアラサルモ衛生關係カ他ノ事業費ニ比シテ甚

シキ懸隔ヲ有スルヲ憂フルモノナリ本縣ニ於テハ常ニ市町村當路者ヲ戒メ必要ナル施設ヲ起サシメ以テ保健事業ノ根本ヲ確立スヘク獎メツツアリ

六、衛生組合ノ活動

農村衛生組合長ヲ活動セシムルコトハ農村衛生ノ振興上齋ス所蓋シ不尠ラト信ス去レト之レカ活動ハ農村ニ於ケル他ノ諸組合ニ比シ遜色アルヲ免レス之レ制度ノ缺陷ニ職由スル所多シ思フニ中心人物タル組合費ノ人選ヲ重要視セサル結果ニシテ之レカ人選ニ關シ目下ノ缺陷ヲ補ハムトセハ即チ組合ニ一個ノ權威ヲ法ノ力ニヨリテ保證スルコトニアリ政府ハ速ニ衛生組合法制定公布セラレムコトヲ望ム本縣ニ於テハ深ク茲ニ考慮シ新ニ時代ニ適合スヘク從來ノ衛生組合規程ヲ改正セムトシタルモ各組合員ニ組合費ノ負擔ヲ強制スルノ該切ナルヲ信シ乍ラ縣令ヲ以テ之レカ強要ハ聊妥當ヲ缺クノ憾アルヲ考慮シ目下計畫中ニ屬ス今ヤ全國ニ衛生組合ノ普及セラルルニ於テ之レヲ統一シタル法律ノ制定ハ最モ緊急ニ迫リ而シテ其ノ公布ニヨリ衛生組合ヲシテ權威アラシムルニ至ラハ衛生ノ振興上一段ノ實績ヲ見ルヲ得ヘク之レカ公布ノ日速カラムコトヲ切望ス

七、衛生事務ノ統一

現今ノ制度ハ工場學校及其ノ他一般ト各部門ヲ異ニシ衛生事務ヲ取扱ヒ居レリ去レト工場ト稱シ學校ト云フモ何等其ノ間普通衛生ト沒交渉ノモノニアラス現制度ハ實況ニ徴シ不便支障不尠之レヲ統

一シタル機關ニヨリテ施行スルコトハ蓋シ衛生ノ振興上極メテ顯著ナルモノアルヲ信シテ疑ハス相
當考慮セラレムコトヲ切望ス

(三) 宮 城 縣

我國現時ニ於ケル農村衛生ノ狀況ハ疑ニ施行セラレタル本省竝ニ各府縣ノ農村保健衛生實地調査ニ依
リ其ノ大要ハ闡明セラレタリ而シテ其ノ得タル成績ニ徴スレハ日常生活上ノ行事慣習ハ非衛生的ナル
モノ多クシテ百般ノ慣行一トシテ之レカ改善ヲ要セサルハナシト謂フモ蓋シ過言ニアラサルナリ殊ニ
我國内ニ於テモ東西其ノ地方ヲ異ニスルニ從ヒ其ノ實情ヲ同フセサルノミナラス同一縣國ニ在リテモ
都邑其ノ處ヲ異ニスルニ依リ著シキ差異アルコトハ論ヲ俟タサル處ニシテ就中東北ノ地ハ地勢其ノ他
ノ關係上文化ノ慈惠ニ霑フコト遅クシテ然カモ歩一度農村ニ入ルレハ一般ニ生活程度低クシ教化徹底
セス其ノ眼ニシ耳ニスル所ノ事物殆ント非衛生的ニシテ之レヲ西南地方ニ比スレハ隔世ノ觀アリスカ
ル地方ニ於ケル農村衛生ノ改良ハ實ニ刻下ノ急務ニシテ事如カモ多難ナリ果シテ幾星霜ノ後期待ニ副
フヘキカ望洋ノ感ナキ能ハス今次ニ主トシテ東北地方ニ於ケル農村ノ衛生改善上必要ナリト信スル所
ヲ述ヘントス

一、衛生思想普及發達ニ就テ

衛生上ノ改良ヲ期スルニハ衛生思想ノ發達普及ノ其ノ根本問題ナルコトハ今更喋々ヲ要セサル所ニ
シテ東北地方ノ如キ衛生思想低級ナル地方ニアリテハ一層切實ニ其ノ必要ヲ認ム現時衛生思想ノ普
及發達ニ關シテハ中央地方ヲ問ハス各般ノ手段方法ヲ盡シ極力其ノ効ヲ收サメンコトヲ期シツツア
リ前ニハ衛生講話會、講習會又ハ展覽會等ヲ開催シ或ハ一般ニ或ハ家庭婦女子ニ之レカ思想ノ注入
ニ努メ近クハ活動寫真ノ開催、宣傳ポスター、小冊子ノ頒布、標語俗語懸賞募集等ヲ行ヒ以テ其ノ
啓發ヲ圖リツツアリ從來ノ例ヲ見ルニ各般ノ思想啓發ニ展覽會、活動寫真、宣傳ポスター等ヲ利用
セルハ常ニ衛生ヲ以テ魁トセリ衛生當事者カ衛生思想ノ發達ニ如何ニ熱心ニシテ且焦心シツツアル
カヲ知ルニ足ル尙衛生讀本ノ編纂義務教育課程ニ衛生學ヲ加ヘ又ハ教科書中ニ衛生關係事項ヲ増加
セシムルコトハ既ニ熾ンニ唱ヘラルル所ニシテ其ノ實現ノ一日モ速カナランコトヲ希フ左ノ二項ハ
稍々理想ニ走ル感ナキニアラサルモ之レカ實行ヲ期セハ農村衛生思想啓發上効果尠ナカラサルヘシ
イ、少年衛生隊ノ編成

將來社會ノ改善ハ今日ノ少年ニ待タサルヘカラサルカ如ク衛生ノ改良モ亦等シク之等少年ノ力ニ
倚ラサルヘカラス即チ之等少年者ニ平素衛生ニ關スル講究ヲナサシメ分ニ應シタル力ヲ公衆衛生
ノ改善ニ致サシメ將來農村衛生改善ノ素地タラシムル爲メ町村ヲ單位トシ其ノ町村在住ノ年齢十

五歳以上二十歳以下ノ男子ヲ以テ一隊ヲ編成シ町村長、警察官吏、醫師ヲ指導者又ハ顧問トシ毎月、日ヲ定メ衛生ニ關スル講習研究ヲ爲サシメ一面年中行事ヲ定メ衛生思想ノ宣傳及衛生施設ノ改善ニ務メシメ而シテ其ノ成績ハ毎年調査報告セシメ優良ナル者ニ對シテハ表彰ヲ行ヒテ其ノ活動ヲ獎勵スルニアリ

右ハ少年者ニ衛生教育ヲ施スト共ニ社會衛生、奉仕ノ觀念ヲ養成シ將來社會活動ノ期ニ至ルモ社會衛生ニ對スル理解ヲ得ルノ利益アルヘシ

ロ、衛生改良指導者ノ設置

衛生思想ノ普及發達ニ關シテハ前ニ述ヘタル如ク各府縣其ノ信スル所ニ據リ力ヲ致シツツアルモ其ノ結果ハ概シテ淺薄ニシテ徹底セサルノ憾ナキニアラス殊ニ東北人ハ生來堅重自ラ持スル厚クシテ容易ニ動かサルヲ以テ容易ニ人ノ言ニ服セサルヲ常トスルニ依リ之レカ年來ノ慣習ヲ打破シテ之レカ矯正示導セシニハ宜シク陰忍持久手自ラ盲者ヲ導クノ概ナカルヘカラス故ニ各種ノ宣傳方法ニ依リ其ノ啓發ヲ圖ルト共ニ農村ハ衛生指導者ナルモノヲ置キ各戸ヲ巡回シ常ニ其ノ生活狀態ヲ視察シ衛生上ノ缺點惡習慣等ヲ發見シタルトキハ主トシテ家庭主婦又ハ其ノ他ノ婦女子ニ就キ懇諭指導セシムルニアリ而シテ其ノ効果如何ハ一ニ指導者ニ其人ヲ得ルヤ否ヤニアルコト勿論ニシテ其人ヲ得ルコト亦容易ナラサルコト想像ニ難カラサルモ次ニ述フル村産婆又ハ小學校女教

員中ヨリ適任者ヲ物色シ之レニ相當ノ必要ナル教養ヲ施シ之レニ當ラシムヘシ

二、一般死亡率殊ニ乳兒死亡率ノ低下ニ就テ

東北ニ於ケル農村ノ一般死亡率ハ他地方ニ比シテ高率ヲ示シ乳兒死亡率ニ於テ殊ニ然リトス從テ一般死亡率ノ高キハ乳兒死亡ノ多キニ因ルトモ謂ヒ得ヘシ是ヲ以テ乳兒死亡ノ低減ヲ計ルハ衛生上ヨリ急務中ノ急務ナルノミナラス地面徒ラニ廣漠ニシテ人影稀レナル東北農村ニ於テハ農村振興ノ聲高キ今日一層等閑ニ付スヘカラサル問題ナリ而シテ乳兒死亡ノ減少ヲ計ルニハ乳兒ノ生育ト密接ノ關係アル母親ノ妊娠中ノ攝養並ニ育兒知識ノ涵養ヲ計ルニアルコトハ今更ラ言ヲ要セサル所ニシテ之レカ知識普及ノ方法トシテハ從來妊産婦育兒保護ノ講習會或ハ展覽會ノ開催、小冊子、宣傳ポスター等ノ頒布ヲ行ヒツツアリ相當覺醒ヲ促シタルモノアルモ東北地方ニ於ケル農村ノ中年以上ノ婦女子ノ教育程度極メテ低ク或ハ殆ント皆無ニ近キモノ多キ爲メ是等ノ宣傳的指導ノミニテハ其ノ効果充分ナラサルモノアリ宜シク今一步進メテ實地指導スルノ要アリ之レニハ村産婆ヲ設置スルコト最モ適切ナリ

村産婆ノ設置 村産婆ノ設置ノ必要ナルコトハ既ニ屢々唱道セラレ又既ニ實行セラレツツアリテ町村ニ於テ産婆ヲ雇備シ低廉ナル料金ニテ産婆派遣ノ需ニ應シ又ハ町村ヨリ補助ヲ支給シ開業ヲ爲サシメ無資力ニハ無料取扱ヲ爲サシメツツアルモノアリ今茲ニ述ヘントスル村産婆モ一面ニ於テハ略

之レト同様ニ村ニ於テ相當手當ヲ支給シテ一般妊産婦ノ取扱ヲ爲サシムルノ外資力乏シキモノ及ヒ村ニ於テ特ニ指定シタル妊産婦ニ對シテハ無料取扱ヲ爲サシムルト共ニ他面ニ於テハ主任産婆ナキ妊産婦ノ家庭竝ニ乳兒ノアル家庭ヲ巡回セシメ妊産婦ノ攝養竝ニ乳兒保育ノ注意及心得ヲ實地ニ就キ説得指導セシメ其ノ村ニ於テ支出セル費用ニ對シテハ縣費ヨリ相當補助ヲ支給シテ其ノ設置ヲ獎勵セントスルニアリ

右ハ妊産婦及乳嬰兒保護ノ目的ヲ達スルト共ニ從來各縣産婆ノ養成普及ニ努メ年々多數ノ新産婆ノ輩出ヲ見ツツアリト雖モ彼等學成リ郷ニ業ヲ創ムルモ年若クシテ經驗ノ豊カナラサルト一般農村ニアリテ若年ノ産婆ヲ望マサル氣風今尙存スル爲メ老齡ナル産婆ニ壓倒セラルルヲ以テ其ノ多クハ單ニ資格ヲ得置クト謂フニ過キスシテ只一部ノ産婦人科、専門醫又ハ熟達セル産婆ニ就キ實地練習ヲ積ミ將來ノ飛躍ニ資セントスル篤志者ヲ除キ大部分ハ看護婦其ノ他ノ業務ニ從事スルヲ常トシ甚タシキハ家ニ在リテ農業ニ從フモノスラアルノ現状ニアリ故ニ是等新産婆ヲシテ村産婆タラシメハ報酬共ノ他ノ經費モ多キヲ要セスシテ妊産婦乳兒ノ保護ニ當ラシムルト共ニ自ラ其業ニ馴レ經驗ヲ積ミ農村住民トモ親シミ産婆普及ノ目的ヲ達シ得ヘシ先ニ青森縣ニ在リシ時同縣ハ乳兒死亡率ノ高キコト殆ント全國第一位ニアリトモ稱スヘキヲ以テ之レカ對策トシテ町村産婆設置補助費一町村年額平均百五十圓トシ(二分ノ一補助)乳兒死亡率高キ町村二十個町村ヲ指定シ町村産婆ヲ設置セシメ前

述ノ方法ニヨリ妊産婦及兒童ノ保護救濟ヲ試ミントシ三千圓ヲ計上シタルコトアルモ削除ノ運命ニ逢過セリ今後モ適當ノ機會ニ於テ之レカ實行ヲ期セントス
産婆ノ補習教育 産婆ノ資格種別ハ其ノ地方ニヨリ一樣ナラサルモ本縣ノ如キハ尙未タ半數ハ從來産婆ノ占ムル所ニシテ少數ノ限地開業スラ認メサルヲ得サルノ狀況ニアリ又試験産婆ト雖モ資格收得ノ後ハ疑ニ得タル淺薄ナル素養ニヨリ其ノ業ニ慣レタルニ過キササルモノ多キヲ以テ毎年短期講習會ヲ開催シ補習教育ヲ施シ現代科學ノ進歩ニ後レシメサルハ妊産婦、乳嬰兒保護ノ増進ニ資スル一方法タルヘシ

三、農村ニ於ケル腸寄生蟲驅除ニ就テ

我國農村ニ於ケル寄生蟲ハ其ノ種類甚タ多クシテ其ノ蔓延區域モ亦頗ル廣ク本縣ニ於ケル寄生蟲ハ十二指腸蟲、蛔蟲、東洋毛様線蟲、肝臟チストマ等主ナルモノニシテ就中十二指腸蟲ハ二十乃至二十五プロセント、蛔蟲ハ七十乃至八十プロセント、肝臟チストマ十乃至三十プロセントヲ示セリ從來之レカ検査ヲ爲セシ町村ハ甚タ少クシテ上記ノ示數必スシモ正鵠ヲ得タルモノトハ稱シ難キモ一班ヲ窺知スルニ足ルヘシ亦之レカ驅除ヲ爲セシ町村モ農村保健調査ニ當リテ驅除セシモノニ村其ノ他一、二村アルニ過キス概シテ本縣民ハ寄生蟲ニ對スル觀念極メテ淺ク只宣傳督勵ノミニテハ容易ニ之レカ實行ニ着手セサルヲ以テ今回縣下遠田郡住民全體約四萬人ノ檢便及驅除ヲ爲サントス之レカ

實行方法トシテハ檢便ハ縣衛生技術員ヲシテ爲サシメ藥品費ヲ郡醫師會交付シ各醫師會員ヲシテ勞力ヲ奉仕セシメテ驅除ニ當ラシムルコトトシ過般同郡醫師會ハ臨時總會ヲ開キ之レヲ附議シ極力之レカ援助ヲ爲スヘキコトヲ決議シタリ而シテ驅除方法ノ統一竝ニ確實ヲ期スル爲メ本年九月一日腸寄生蟲講習會ヲ開催シ同郡醫師會員ヲシテ聽講セシメ檢便、驅除ハ先ツ小學兒童ヨリ初メ町村住民ニ及ホスコトトシ其ノ檢便、驅蟲ニ先チ各町村ニ亘リ寄生蟲ノ活動寫眞及講話會ノ開催、宣傳ポスター、小冊子ノ頒布ヲ爲シ一般ノ注意ヲ喚起シ檢便驅蟲ニ對スル諒解ヲ得セシメ事業ノ遂行ニ便ニセントス一回驅蟲後ハ更ニ檢便ヲ施行シ尙殘存セルモノニ對シテハ任意ノ醫師ニ就キ驅蟲ヲ行ハシム此ノ施設ニシテ幸ニ良結果ヲ得ハ次年度ニ於テハ驅除區域ヲ擴大シ數年ヲ期シテ縣下全郡ニ及ホサントス

大溜糞池設置ノ獎勵 腸寄生蟲豫防上糞便ノ處置ハ頗ル重大ノ意義ヲ有スルコトハ言フ俟タサル所ナリ然ルニ東北地方ノ農家ノ糞池ハ概シテ頗ル大キク冬季間又ハ施肥ヲ要セサル間ハ此ノ便池ニ上圍停溜セシメ春季融雪ノ後肥料必要ノ季節ニ至レハ一時ニ汲ミ取り秋期ニ至ル間ハ必要ノ都度汲ミ取ラルルヲ以テ糞便ハ排泄後間モナク未醱酵ノ儘田畑ニ搬出セラレ寄生蟲蔓延ノ機會ヲ繁カラシム故ニ此ノ未醱酵便ノ施肥ヲ防止スル目的ノ爲メ耕作田畑ノ多少ニ應シ二個以上適宜ノ大溜糞池ヲ作ラシメ之レニ覆蓋ヲ施シ便所ノ糞壺ヨリ持チ來タシタル便ハ尿ト共ニ一定期間醱酵セシメタル後施

肥セシムルニアリ

四、農村ニ於ケル飲料水改良ニ就テ

農村ニ於ケル飲料水ノ改良ハ保健衛生上ヨリ又防疫上ヨリ見ルモ農村衛生改良上極メテ重要ナル問題ニシテ飲料水改良ノ必要ナル所以又之レカ改良方法ハ種々ナル手段方法ニ依リ宣傳獎勵セラルル所ナルモ未タ充分ナル結果ヲ舉クルヲ得サルハ遺憾ナリ

農村ニ於ケル飲料水改良方法トシテハ第一ニ簡易水道ノ布設ニ指ヲ屈セサルヘカラス殊ニ連擔セル部落ニ在リテハ最モ適切ニシテ且ツ至便ナル方法ナルヲ以テ從來各府縣ニ於テ簡易水道布設ニ對シ補助ヲ支給スルハ勿論町村ノ希望ニ依リ無料設計ノ依託ニ應シ又場合ニ依リテハ適當ト認ムル場所ニハ進ンテ水源ノ調査水道工事ノ設計等ヲ爲シ之レカ布設ヲ督勵シツツアリテ本縣ニアリテモ近時水道布設ノ氣運漸ク勃興セントスルノ傾向ヲ示セリ

簡易水道布設ニ際シ常ニ困難ヲ感シ之レカ着手ヲ躊躇逡巡セシムルモノハ適當ナル水源ノ發見ト水道布設ノ資金問題ニアリ前者ニ對シテハ府縣ニ於テ適宜檢索講究ヲ遂ケ之レカ提供ニ努ムヘキモ後者ニ對シテハ只府縣ノ力ノミニテハ足ラサルモノ多シ政府ニ於テモ是等國民保健問題ト重大ノ關係アル事業ニ對シテハ低利資金融通ニ先優權ヲ與ヘ且又上水道布設ニ對スル國庫補助ノ如キモ曩ニ其ノ範圍ヲ町ニ迄擴大セラレタルヲ更ニ村ニ迄及ホスニアリ然レトモ曩ニ折角其ノ補助ノ範圍ヲ町ニ

擴大セラレタルニ拘ラス其ノ豫算ノ範圍内ニ於テノ制限ニ累セラレ今尙ホ專ラ大都市ノミニ補助セラレ町ニ於テ此ノ改正ノ特典ヲ蒙リタルモノ殆ント無キカ如シ想フニ大都市ニ於テハ水道問題ハ一般ニ充分ナル理解ヲ有シ負擔力モ之レヲ町村ニ比シ充分ナルヲ以テ大都市ニ對スル補助ヲ制限シ之レヲ町ニ對シテハ勿論一步ヲ進メテ村ニ迄及ホサシムルニ至ラハ補助率ノ多少ノ如キハ論スルニ及ハス之レカ獎勵且速成ノ上ニ多大ノ効果アルヘシ若シ今水道補助ヲ村ニ及ホサハ其ノ範圍餘リニ廣キニ過キ實行困難ナル嫌ナキニアテス此ノ場合ニ於テハ現時府縣カ傳染豫防費ニ支出セシ額ニ對シ國庫ヨリ補助ヲセラルルカ如ク府縣カ町村ノ水道費ニ補助セシ額ニ對シ國庫補助ヲ爲スコトトセハ可ナルヘシ而シテ水道布設ノ獎勵ト共ニ一面井戸ノ改良モ亦閉却セサルヲ得サル問題ニシテ是亦極力獎勵ヲ爲ササルヘカラス從來各府縣ニ於テモ共用井戸ノ改良ニ對シテ補助ヲ支給シ又各戸ノ井戸ニ對シテ之レカ水質検査ヲ施行シ其ノ不良井戸ニ對シテハ構造改良ノ方法ヲ指示シ之レカ改善ヲ促進セシメツツアリ本縣ニ於テハ從來縣下全體ニ亘リ水質検査ヲ施行セシコトナキヲ以テ縣下ニ於ケル水質ノ良否ヲ確然判知スルヲ得サルモ本年一郡ヲ指定シ郡内全部ノ水質検査ヲ施行セルニ検査總數ノ五割六分ハ飲用ニ適セサルモノナルヲ發見セリ之レニ依リテ見レハ縣下井水ノ約半數以上ハ吾人健康保全上有害ナル不良水ヲ以テ飲用ニ供シツツアルノ狀況ニアリ本縣ニ於テハ大正十年一月縣令ヲ以テ傳染病豫防ノ爲メ飲用井戸ノ構造制限ヲ定メ居レリ

第一條 井側ハ石材、煉瓦、土管又ハ木材等ヲ以テ構造シ罅隙ノ部分ニハ「コンクリート」、漆喰、敲ノ類ヲ以テ汚水ノ滲透ヲ防クヘシ

第二條 井戸ノ周圍地表三尺ハ石材、煉瓦又ハ「コンクリート」、漆喰敲等ヲ敷詰メ且ツ土管其他不滲透質ノ材料ヲ以テ三間以上ノ排水溝ヲ設クヘシ

第三條 井戸ハ覆蓋ヲ設ケ且ツ石材、土管、木材等ヲ以テ高サ三尺以上ノ井桁ヲ設クヘシ

第四條 井戸ハ唧筒ニテ汲取り釣瓶其ノ他ヲ使用スヘカラス但シ水深ク其ノ他特別ノ事情ニ依リ唧筒ヲ使用シ難キモノハ此ノ限りニアラス

第五條 專用井戸ニシテ病毒傳播ノ虞ナキモノト認ムルモノニ限り警察官署ノ許可ヲ得テ本則ニ據ラサルコトヲ得

第六條 本則第一條乃至第五條ニ違反シタルモノハ科料ニ處ス

右縣令ノ適用ハ現今ニアリテハ町制施行地以上ニシテ大正十年一月施行以來約三ケ年間ニ改造セシモノ縣下各施行地ヲ通シテ僅カニ二百三十九ニシテ其ノ成績極メテ微々タルモノナリ之ヲ要スルニ水質ノ良否ヲ検査セス漠然改造ヲ獎勵セシモノナルヲ以テ只新規ニ井戸ノ築造ヲナスモノ又ハ個々井戸ノ改造ヲ爲サントスルモノノ此構造制限ニ依リタルニ過キサレナリ

由來我國殊ニ農村ニアリテ水質改良ノ實績擧カラサルハ我カ家人井戸ハ祖先傳來ニシテ世々代々幾

十代トナク之レニ依リ生活シ來レリ何ソ今俄カニ之レヲ改造スルノ要アランヤト謂フ錯誤觀念ト今一ハ資金調達問題ニシテ井戸改造ヲ爲スニ當リ富豪者ハ別トシテ中産階級以下ニアリテハ一時ニ多額ノ費用ヲ支出スルコトノ困難ナル場合多クシテ井戸ノ改善ハ切ニ其ノ望ム所トスルモ費用ノ支出ニ困シ改善ノ出來サル場合尠ナカラス故ニ前ノ錯誤ヲ矯正覺醒セシムル目的ヲ以テ水質検査施行ノ結果不良ナル井戸ノ所有者ハ勿論一般ニ對シ水質改良ニ關スル實驗的講話會ヲ開催シ井水良否ノ實驗其ノ原因危害並ニ之レカ改良方法ニ就テ説明了得セシメ一面資金調達ノ方法トシテ井水改良期成組合ヲ組織セシメ毎月一定額ヲ積立テシメ抽籤其ノ他ノ方法ニ依リ當籤者ヲ定メ順次之レカ改造ノ實行セシムルニアリ今日井戸改良獎勵ノ方法トシテ共同井戸ニ對シテ補助ヲ爲ス府縣多シト雖モ各戸ノ井戸改良ニ對シ補助ヲ爲スコトハ現在ノ府縣經濟ニテハ其ノ能クスル所ニアラサルヘシ故ニ若シ此ノ期成組合ノ組成ニ對シ幾分ノ補助ヲ爲スヲ得ハ各戸井戸ニ對スル改造ノ獎勵トナルト共ニ組合組成ノ獎勵トナルヘシ

右ノ方針ノ下ニ本縣ニ於テハ四ヶ年繼續ニヨリ縣下各町村ノ飲料水ノ検査ヲ施行セントシ來年度豫算ニ水質改良調査費ヲ計上セントス幸ニシテ豫算ノ通過ヲ見ハ上述ノ方法ニヨリ水質改良ノ目的ヲ達センコトヲ期セリ

五、農村ニ於ケル主ナル疾病ノ豫防撲滅

各地農村ニ共通的ニシテ且ツ蔓延セル疾病ハ十二指腸蟲、蛔蟲等ノ寄生蟲、トラホーム、腸チフス、結核等ヲ列舉セサルヲ得ス共ニ農村ニ廣ク且ツ濃ク蔓延シ又漸次蔓延セントスル傾向ヲ示シ農村疲弊ノ因ヲ爲シツツアリ之等疾病ノ豫防撲滅ヲ圖ルハ農村ニ於ケル保健増進上緊要ノモノタルナリ而シテ十二指腸蟲、蛔蟲等ノ寄生蟲ニ對スル驅除ニ就テハ既ニ述ヘタリ、腸チフス豫防問題ハ農村ニ於ケル衛生思想ノ啓發日常生活狀況ノ改善飲料水ノ改良等ノ根本的改良ノ出來サル間ハ豫防注射ノ勵行菌保有者ノ検査蠅族ノ驅除清潔方法消毒方法ノ勵行等ノ對時的方策ヲ講スルノ外ナシ

トラホームハ農村病ノ一トシテ殊ニ東北農村ニ於テハ著シク蔓延シ一張一弛減退ノ傾向ヲ示サス寧ロ蔓延ノ狀況スラナキニアラス之レカ豫防撲滅策トシテハ前者ト等シク衛生思想ノ啓發ト生活ノ向上ニ待ツノ外豫防事項ノ遵守ト治療ノ徹底ヲ期スルニアルモ實際ノ勵行ニ至リテハ甚々難事タリ之レ東北ノ農村ニアリテハ本病ノ如キハ祖父母ヨリ之レヲ子ニ傳ヘ更ニ孫ニ移シ代々相傳ヘ恰モ遺傳病ナルカ如ク眼ニ眼脂ノ出スルモノアルモ普通ト心得ヘ視力減スルモ亦天性ナリト思ヒ治療ヲ進ムルモ容易ニ從ハス偶々醫治ニ就クモノアルモ本病ノ經過瀰久ニシテ容易ニ治セサルカ爲メ暫時ニシテ之レヲ廢止スルモノ比々皆然リ加フルニ清潔觀念ニ乏シク不潔ノ何タルヲ解セサルカノ感アラシムルモノハ一層本病ノ蔓延ヲ助長セシメツツアルノ現況ニアリ故ニ東北ニアリテニ豫防事項ノ遵守督勵ヲ爲スコトモサルコトナカラ先ツ本病ニ適當ナル治療ヲ加フレハ治シ得ルモノナル觀念ヲ與ス

ルコト肝要ニシテ之ヲカ目的ニ各町村殊シテ各部落或ハ町村内適當ノ場所ニ簡易ナル共同治療所ヲ可及的多ク開設セシメ其區域内ノ患者ハ特ニ自費ヲ以テ任意ノ醫師ニ就キ治療ヲ爲スモノハ別トシテ其ノ他ノ患者ハ貴賤貧富ヲ別ナク悉ク共同治療所ニテ治療セシムルニアリ而シテ其ノ治療所開設ニ先チ町村住民ノ全部ニ對シ檢診ヲ施行シ治療券ヲ交付シ治療所ニ赴カシメ治療所ニハ醫師一名看護婦二名位ヲ置キ開設期間ヲ二ヶ月トシ之レヲ以テ其ノ年度ノ治療ヲ了シ未治療者ハ越患者トシテ翌年度開設迄任意ノ醫師ニ就キ治療セシメ尙治療セサレハ再ヒ翌年度開設ノ治療所ニ來ラシムルニアリ而シテ治療所ノ開設期間ヲ二ヶ月トセルハ從來治療所開設ノ結果ヲ見ルニ二ヶ月ノ終リニ至レハ著シク受療者減少シ三ヶ月ニ至レハ如何ニ督勵ヲ加フルモ受療ニ來ルモノ甚タ寡シ且ツ督勵ニ當ルモノ亦消氣ヲ生シ其ノ以上開設期間ヲ延長スルモ大ナル効果ヲ得難キヲ常トスルヲ以テナリ此ノ如ク共同治療所ヲ開設スルコトハ患者ノ強制治療ノ督勵ニ便ナルト共ニ一面治療ノ際豫防心得事項ノ遵守督勵ヲ爲シ之レカ實行ヲ期スル上ニモ利益アリ

農村ニ於ケル結核豫防上遺憾ヲ感スルコト多クアリト雖モ就中結核患者又ハ死者ノアリタル場合ノ消毒方法施行ノ狀況ニアリ現在是等患者又ハ死者ノ在リタル場合醫師ノ指示ニ基キ夫々消毒ヲ實施シツツアルハ勿論ナルヘキモ其ノ實行方法ノ如何ニ至リテハ思ヒ半ニ過クルモノアルヘキヲ疑ハス現今各地ニ於テ結核豫防會其ノ他ノ團體ニ依リ消毒所ノ設置ヲ計畫セラレ之レカ消毒方法ノ徹底普

及ヲ期セントシツツアルモ之レトテモ都會地ニ止マリ農村ニ及ホスハ容易ノ業ニアラス此時ニ當リ村設備ノ傳染病院又ハ隔離病舎ニアル消毒設備ヲ利用スルコトノ便利ニシテ同一設備ヲ二重ニスルノ弊ヲ除キ得ヘシ併シ之レカ實行ヲ期スルニハ結核豫防法規中ニ町村ニ於テ消毒ニ關スル設備ヲ爲スヘク規定スルヲ要ス左スレハ町村ニ於テハ從來ノ傳染病院隔離病舎ノ消毒設備ヲ利用シ消毒ノ施行ヲ爲シ有資力者ヨリハ相當料金ノ徵收ヲ爲シ資力乏シキモノノ費用ハ縣費支辨ニ依ル等適宜ノ方法ヲ講セハ可ナルヘシ

六、農村ニ於ケル住宅問題

居ハ心ヲ新ニスト其ノ生活狀態ノ改善ヲ期センニハ先ツ吾人ノ生活ト最モ關係深キ住宅ノ改善ヲ期スルアリ就中生活上ノ缺點多キ農村ニ於ケル住宅ノ改善ハ極メテ必要ナル事項ナリト雖モ之レカ改善ノ現實ハ長年月ノ後ニ期セサルヘカラス殊ニ東北ノ地ハ冬季降雪ノ多量ナルト寒風凜烈ナルトニヨリ屋棟低ク窓牖少ク從テ床下又低ク室内暗濕ニシテ空氣ノ流通光線ノ射入善良ナラス加フルニ東北地方ハ冬季ノ寒威峻嚴ナルニ係ラス防寒ノ設備ヲ缺キ只徒ラニ戸扉ヲ閉サシ窓牖ヲ塞キ暗黒ナル屋内ニ爐ヲ擁シ火ヲ燠シ坐シテ食シ翌年融雪春光ノ來ルヲ待ツノ狀況ニアル勸業當事者ノ副業獎勵産業振興ノ勸説モ家屋ノ改善ヲ圖リ防寒設備ノ宜シキヲ得サル間ハ何ソ火ヲ離レ爐邊ヲ去リ業ニ勵マンヤ東北ノ農村住宅ノ改善ハ東北農村振興ノ一策タルヲ失ハス故ニ東北農村住宅ノ改善ハ東北各

縣共同シテ東北住宅改善ニ對スル研究ヲナシ又場合ニ依リテハ懸賞募集ニ依リ圖案ヲ得之レニ依リ建築展覽會及講演會ヲ開キ住宅改善ノ必要ヲ鼓吹シ大工徒弟ニ對スル講習會ノ開催、工業學校課程ニ建築衛生ノ學科ヲ加フルカ如キモ住宅改善ニ對スル一方法タルヘシ

厠園、芥溜、下水ノ改善 宅地内ニ於ケル厠園、芥溜、下水等ノ改善モ亦住宅改善ニシテ消化器傳染病及腸寄生蟲等ノ豫防上重要ナル關係ヲ有スルモノナルハ言フ要セサル所ニシテ本縣ニ於テモ明治二十八年以來市街地ニ於ケル厠園、芥溜、下水ノ取締規則ヲ制定シ之レカ新設若クハ改造ニ際シテ其ノ改善ヲ期シツツアリ將來之レカ範圍ヲ一般村落ニ及ホシ畜ニ新設若クハ改造ノ場合ニ限ラス一般ニ厠園其他ノ改造ヲ強制スルモ可ナルヘシ

七、農村ニ於ケル榮養問題

從來農村ニ於ケル榮養ニ關スル思想ハ一般衛生思想ノ幼稚ナルト共ニ生活程度極メテ低級ニシテ從テ榮養問題ニ對シテモ消極的自給自足ヲ以テ甘ニスルノ結果日常食物ハ主トシテ自耕自作ニ依リ植物性ノモノ多ク動物性ノモノ極メテ寡ク農村住民ノ體質體力ノ發達充分ナラサルハ之レニ因ルモノナルヘク其ノ體質ノ改善ヲ期スルニハ動物性食物ノ攝取増加ヲ獎メ農村住民ノ榮養ノ改善ヲ期スルニアルモ農村住民ノ現在ノ常用食物ハ粗食ニ慣レ今之レヲ改善セントスルモ恰モ飲料水ニ對スル慣習自信ニ等シク日常ノ榮養改善ニ對シテモ亦容易ニ首肯スルモノナシ又假令榮養改善ノ必要ヲ悟ル

モ都市住民ノ生活上ノ經濟著シク向上セルニ農村ニ於ケル生活上ノ經濟ハ依然トシテ進化向上ヲ示ササル今日ニ於テ獎ムルニ日常食物ノ改善ヲ以テスルコト難事ナリ宜シク乳肉獎勵ニ關スル講演會、展覽會其ノ他一般衛生思想涵養ノ方法ヲ講シ漸次農村住民ノ榮養ニ關スル知識ノ向上ヲ圖ルト共ニ農家ニ於ケル榮養ノ自給自足ヲ目的トシテ養鶏養豚ハ勿論乳牛ノ飼養獎勵ヲ爲シ簡易屠場(小動物)ノ増設ヲ圖リ村農會產業組合、青年團其ノ他ノ團體ヲシテ設立經營セシメ共同屠殺ヲ爲サシメ可及的廉價ナル肉類ノ供給ヲ爲サハ動物性食物勸奨ノ一方法トナルヘシ

目下本縣ニ於テ搾乳營業者並ニ獸肉營業者ヲ主體トシテ乳肉獎勵會ナルモノヲ組織シ乳肉ノ改良、廉價供給ヲ圖リ一般社會ニ乳肉需用ノ鼓吹ヲ期セント計畫中ナリ若シ是レカ成立ヲ見ハ其ノ事業トシテハ保健衛生上ヨリスル乳牛、食用牛ノ改善飼料ニ關スル研究、乳食用牛ノ共進會、簡易肉料理講習會ノ開催其他乳肉ノ獎勵宣傳等ヲ爲シ地方農村ニ於ケル榮養改善ニ資セントス

八、衛生特定日ノ設定

衛生上ノ從來ノ陋習ヲ打破シ之レヲ矯正指導スルニ一定時日即チ衛生デーヲ設定シ一般ノ注意ヲ喚起シ實行ヲ督勵セハ漸次習慣ヲ作り衛生狀態改良ノ一手段トナルヘシ現ニ各地ニ於テ蠅取デー、清潔デー、蟲取デー其ノ他種々ノ衛生デー行ハレツツアリ民間ニ於テ古クヨリ健康増進法トシテ土用ノ卯ノ日ニ鰻ヲ食スルコトヲ傳唱セラレ今日尙盛ニ行ハレ居レリ之等ノ由來ハ確知セザルモ或ハ是

盛夏炎熱熾烈ニシテ身神ノ最モ疲勞ヲ來ス時季ニ肉食獎勵ノ衛生デーヲ設定シタルモノニアラサルカ現時ハ卯ノウヲ牛ノウニ通セシメ其ノ當日牛肉ヲ食スルモノ多シ爲メニ其ノ日ハ屠牛數著シク増加セルヲ見ル將來榮養ノ改善等モ此ノ如キ方法ニ依ラハ比較的容易ニ實行ヲ期セラレシカ

九、衛生組合制度ノ改善

我國衛生状態ノ改善發達ハ少數ナル衛生事務關係者ノ能クスル所ニアラス宜シク一般民衆ノ自覺自醒ノ活動ニ待タサルヘカラサルコトハ今更論スル迄モナキコトナルモ其ノ希望ノ實現ハ到底近キ將來ニ期待スルコト能ハサルハ遺憾トスル所ナリ而シテ現時ニ於ケル地方衛生制度ノ實際ノ運用狀況如何ヲ見ルニ町村直接ノ監督者タル郡長其ノ人既ニ勸業教育等ノ事務ニ對シテハ全力ヲ傾注スルモ衛生事務ニ對シテハ極メテ冷淡ニシテ殆ント没交渉タルノ態度ヲ持スルモノスラアリ其ノ管内ニ於ケル衛生保健ニ對シテ郡長自體ヨリ發動セル衛生施設ト認ムヘキモノ極メテ稀レニシテ唯縣ヨリ發セル指示通牒ヲ取繼クト謂フニ過キス從テ之レカ被監督者タル町村ノ衛生事務ハ年齢若キ經驗ナキ又事務ニ慣レサル青年ヲシテ當ラシメ然カモ稍々執務ニ通スルニ至レハ勸業兵事其ノ他ノ業務ニ轉セシムルヲ常トシ其ノ轉セラルル者モ之レヲ榮轉名譽ナリト心得ヘ居ルノ狀況ニシテ一方警察官署長モ其ノ人ニ依リ一様ニ言フ能ハサルモ概シテ保安高等ノ警察事務ヲ其ノ本務ト心得又護身榮達ノ秘計ナリト信シ黜陟ニ縁薄キ衛生事務ニ専心スルモノ少ク從テ町村吏員一般住民ニ對シ指導誘掖足

ラス叙上ノ趨向ハ東北地方ニ在リテ一層其ノ感ヲ深クス斯カル現状ニアリテ地方衛生改良ノ發達遲々タル宜ナリト謂フヘシ故ニ地方衛生ノ改善發達ヲ期スル上ヨリ是等行政機關ノ振肅改善ヲ圖ルハ素ヨリ緊要事タリト雖モ又假令是等行政機關ノ活動宜シキヲ得ト雖モ是等行政機關ノ外ニ自治的ニ衛生保健ノ改善發達ヲ期スル團體ヲ必要トス殊ニ近時國運ノ發達ニ伴ヒ百般庶政日ヲ遂フテ繁劇複雜ヲ加フル時ニ當リテ衛生特種ノ自治團體ノ設立ヲ要スルコト切ナリ之レニ對シテハ現在ノ郡市醫師會ヲ指導シ誘掖之レカ活動ヲ促進セシムルノ外衛生組合ノ改善活動ヲ期待セサルヲ得不現在ニ於ケル衛生組合ハ傳染病豫防法規組成セラレタルモノナルヲ以テ一般ニ亘ル衛生自治團體トシテ其ノ活動ヲ期待スルニハ其ノ組成ノ根據權限餘リニ輕狹ニ過ク殊ニ衛生組合ノ濫腸ハ明治三十年舊傳染病豫防法制定當時ニシテ爾來二十餘年不振ノ歴史ヲ繰返シツツアルヲ以テ更始一新ノ意味ニ於テ衛生組合ノ單行法令ヲ制定シ傳染病豫防ハ勿論保健衛生ニ至ルマテ干與セシムルコトトシ恰モ彼ノ農會法ノ夫レノ如ク町村衛生組合ノ上ニ代議制トシテ郡、縣衛生組合ヲ設ケ一貫シタル實行機關タル衛生自治團體トシテ警察官吏町村吏員ト相協調連絡ヲ保チ以テ衛生状態ノ改善發達ニ當ラシムルニアリ

(三) 福島縣

縣下ニ於ケル農村ノ實際ヲ窺フニ其ノ衛生狀態ノ洵ニ寒心ニ不堪モノ尠カラス之レカ改善ノ急務ナルコトハ今更言ヲ俟タサルトコロナリト雖モ其業態ト四圍ノ實情ト因襲ノ久シキトニ依リ不得止トコロニシテ其住宅ニ於テ、衣服ニ於テ將又飲食物ニ於テ殆ント意ニ介セサルカ如キモノアリ其甚敷ニ至リテハ普通生活者ノ窺知スル能ハサルノ實況アルモノ尠カラス之レカ改善ハ個人ノ財政ニ關スルトコロ大ナリト雖モ衛生思想ノ普及ト家屋環境等ノ改善ニ俟タサルヘカラスト思料セラル

一、農村ニ於ケル住宅ノ換氣採光等不充分ナルモノアルハ言ヲ俟タサルトコロニシテ殊ニ寢室、便所等ノ位置構造完全ナラス爲ニ各種疾病ノ因ヲ爲スモノ尠カラス

二、飲料井戸ノ不完全不適當ナルモノアルノミナラス其ノ甚敷ニ至リテハ流水ヲ飲料ニ供スルモノアルヲ以テ上下水道ノ改善ト共ニ食品ノ調理ニ乳肉需給ニ改善ノ要アルモノ多シ

三、農村ニ於テ最モ瀰蔓シツツアル疾病ハ「トラホーム」及寄生蟲ナルヘク殊ニ寄生蟲豫防撲滅ニ關シテハ適切ナル計畫ヲ樹テ急速實施ノ要アリト認ム

四、醫療機關ノ普及不充分ナル爲各種ノ疾病ヲ散蔓セシムルノミナラス乳兒其ノ他ノ死亡者ヲ多カラシムルノ原因トナル

五、農村ニ於ケル喫煙、飲酒ハ慰安ノ一ナルカ如キ狀況ニ在リ飲酒ノ害甚シキノミナラス未成年者ノ喫煙ノ害モ亦尠カラサルヲ以テ取締ノ勵行ト改善トヲ要スト認ム

六、各種衛生團體ノ改善ヲ圖リ之カ活動ヲ促シ衛生思想ノ普及ヲ爲スヲ以テ急務トス

七、妊産婦及乳幼兒ノ愛護惡風習ノ改善運動競技ノ獎勵其ノ他地方ノ習慣ニ照シ各種ノ改善ヲ要スル

八一、ニニシテ止ラス

(四) 岩手縣

本縣ニ在リテハ農ヲ營ムモノ六割五分ヲ占ムルノ狀況ニシテ大正十一年度ニ於ケル調査ニヨル村ノ數二百七十七ヶ村其人口六十七萬五千五百十三人ニシテ内七割六分ハ農ヲ以テ業トス而シテ縣下ニ於ケル農村住民ノ保健衛生狀態ハ地方ニ依リ地勢、氣候、風土、民風、耕地並ニ副業ノ種類、社會狀態等其ノ環境ヲ異ニスルニ從ヒ自ラ差異アルヲ免レサルモ概テ出產率高ク體格良好ニシテ壯丁體格ノ如キ常ニ

全國中第五位ヲ下ラスト雖モ一般ニ衛生状態不良ニシテ死産多ク死亡率高ク殊ニ乳幼兒ニ於テ其甚シキヲ見ルカ爲メ人口増加ノ歩合大ナラス農村ニ於ケル疾病中其ノ多キヲ占ムルモノハ腸炎、下痢、小兒性傳染病、急慢性消化器病、呼吸器病、腦出血、妊産ニ因スル疾患、消化器系傳染病、先天性弱質、畸形、腦膜炎患者、死者、首下リ病、エキリス病、フキラリヤ、夜盲症、十二指腸蟲、蛔蟲、レウマチス、トラホーム、急慢性皮膚疾患ニシテ近時結核病ノ如キモ年々蔓延ノ度ヲ加ヘ殊ニ婦女ニ於テ其ノ傾向著シク脚氣、心臟、腎臟疾患死者、神經衰弱症等又漸次増加ノ狀勢ヲ呈セリ
以上ノ狀況ニ鑑ミ農村保健衛生状態ヲ改善スルカ爲メ左記事項ヲ實行スルヲ必要ト認ム

記

- 一、農村ニ於ケル衛生事務ニ從事スル者ニ對シ衛生觀念ノ向上ニ努メ衛生事務ノ振作ヲ期スルコト
- 二、衛生思想ノ向上ヲ計ルコト
 - イ、義務教育期間中ニ於テ衛生ニ關スル觀念ノ啓發並ニ之カ實行ノ慣習ヲ養成スルニ一層努力ヲナスコト
 - ロ、農村向キノ女子補習學校若クハ實科女學校ノ普及ヲ計リ家事衛生ノ科目ノ教授訓練ニ重キヲ置クコト
 - ハ、農村女子ノ爲メニ産業講話ト關聯セル衛生講話ヲナスコト

- ニ、兵役ニ服スル者ニ對シ在營期間中一層衛生ニ關スル知識ノ向上ト實行の慣習トヲ養成スルコト
- ホ、在郷軍人會、青年會、處女會、赤十字、愛國婦人會、宗教團體等ヲシテ保健衛生ニ關スル觀念ノ向上ト實行の慣習養成ニ努メシムルコト
- ヘ、從來實施シ來リタル各種宣傳ノ方法ヲ徹底的ニ實施スルコト

三、農法ノ改良ヲ計ルコト

- イ、農業者ハ時期ニ依リ肉體的過勞ヲ免レヌ爲メニ健康ヲ損フニ至ルモノ尠ナカラサルヲ以テ適當ナル動力器械等ノ利用ヲ獎勵スルヲ要ス
- ロ、施肥播種方法等ノ不良ナル結果消化器系傳染病及寄生蟲蔓延ノ原因トナルモノ多キヲ以テ其方法ヲ改良スルコト
- ハ、冬期間ニ於ケル適當ナル副業ノ普及獎勵ヲ計ルコト

四、住宅ノ改良ヲ期スルコト

農村ニ於ケル住宅ヲ見ルニ之レカ構造設備ノ衛生的要求ニ添ハサルモノ多ク爲メニ健康ノ障害ヲ招キ殊ニ腸炎、下痢、消化器系傳染病並寄生蟲發生蔓延ノ原因又ハ誘因ヲ醸成シツツアル實情ナルヲ以テ之レカ改善ヲ期シ特ニ附屬建物タル便所、厩舎、汚水、汚物溜、肥料溜等ノ構造ニ付キテハ制限ノ規定ヲ設クルノ要アリ

五、飲料水ノ改善ヲ期スルコト

イ、飲料水取締規定ヲ制定スルコト

ロ、河水飲用ノ止ムナキ地方ニハ河床ニ簡易ナル淨化装置ヲ爲シ飲用セシムルコト

ハ、人家稠密ナル地方ニハ上水道又ハ簡易水道ノ普及ヲ計ルコト

六、食糧ニ關スル知識ノ向上ヲ計ルコト

イ、農村住民ハ食糧ニ關スル知識ニ乏シク爲メニ材料選擇偏倚シ又ハ調理法貯藏法ノ不完全ナル等ノ結果發育成長並ニ健康上ニ障害ヲ蒙リツツアルモノ少ナカラズ殊ニ少兒期ニ於テ其大ナルモノアルヲ以テ榮養ニ關スル知識ノ啓發向上ヲ期スルヲ要ス

ロ、母乳ノ不足又ハ作業上ノ關係ヨリ正規的ニ授乳ノ困難ナル結果不完全ナル人工榮養法ヲ講スル者或ハ離乳期前菓子等ノ類ヲ與フルモノ少ナカラサル結果消化器障害ヲ起シ榮養不良ニ陥ルモノ多ク且ツ之カ因トナリ死亡スル者多キヲ以テ村農會等ヲシテ搾乳配給ノ途ヲ講セシムルヲ適當トス

ハ、肉食殊ニ冬期間ニ於テ必要ト認ムルヲ以テ小動物豚ノ屠殺ニ對シテハ現行取締規定ヲ緩和シ簡易屠場ノ設置ヲ獎勵普及ノ要アルヲ認ム

ニ、現今市場ニ販賣セラルル小兒用玩具菓子、炭酸瓦斯ヲ含有セサル清涼飲料水、菓子其他食品

ニシテ有害又ハ變販シ易キモノ多ク腸炎、下痢等ノ原因タルコト少ナカラサルヲ以テ現行取締規定ニ係ル取締至難ナルモノニ付キ夫々取締ノ規定ヲ制定スルノ要アリ

七、浴場ノ設備ノ普及ヲ獎勵スルコト

イ、一般保健上ハ勿論疲勞ヲ醫シ能率増進ヲ期スル上ニ又トラホーム、皮膚疾患豫防上公設浴場又ハ自家用風呂ノ設備ヲ獎勵普及セシムルノ要アリ

ロ、小學校ニ浴場並ニ洗濯所ヲ設備シ身體衣服ノ清潔保持ノ教養ト之カ慣習ヲ養成スルノ要アリ

八、下水ノ改善ヲ計ルコト

不完全ナル下水ハ一般保健上ニ及ホス影響大ナルノミナラス消化器系傳染病、寄生蟲蔓延ノ原因タルコト大ナルモノアルヲ以テ之カ改善ヲ計ル要アリ

九、醫師、産婆ノ普及ヲ計ルコト

イ、面積廣大、人口稀薄、交通不便ナル結果農村ニ於ケル醫師、産婆ノ普及治カラス治病上ハ勿論一般保健上防疫上妊産婦兒童保護上之カ普及ヲ期スル至難ナルモノアルヲ以テ國費補助又ハ赤字社、濟生會等ヲシテ治療所ヲ設置セシムルカ或ハ費用ノ幾部ヲ補助スル等之レカ普及ヲ期スルコト緊要ナリ

ロ、産婆養成機關ヲ設置スルヲ必要トス

一〇、寄生蟲ノ豫防撲滅ヲ期スルコト
 十二指腸蟲、蛔蟲ノ寄生ニ依リ發育生長阻害セラレ且ツ健康ヲ損フモノ多ク之カ豫防撲滅ノ徹底ヲ期スルノ要アリ

一一、古着類ノ消毒ヲ勵行スルコト
 古着ノ媒介ニ依リ結核、トラホーム、痘瘡等ノ傳播ヲ來スコト少ナカラサルヲ以テ之等移出ニ際シ完全ナル消毒ヲ勵行スルノ要アリ

一二、血族結婚ノ弊ヲ矯正スルコト
 血族結婚ノ遺傳體質退化ノ原因タルコト少ナカラサルヲ以テ其ノ弊習ヲ矯正スルノ要アリ

一三、節酒ヲ勵行セシムルコト
 アルコール飲料ノ過用ニ因スル健康障害體質ノ惡變遺傳腦溢血其ノ他ノ之ニ因スル疾患死者少ナカラサルヲ以テ未青年者禁酒法ト相俟ツテ英吉利、瑞典ノ如ク節酒ヲ強制スル法案ヲ發布シ暴酒ノ弊ヲ変除スルヲ要ス

一四、花柳病豫防ニ關スル觀念ノ向上ヲ期スルコト
 賣淫ノ弊アルヲ免レサル状態ニアル酌婦其ノ他接客業者竝ニ一般公衆ノ花柳病ニ關スル觀念ノ向上ヲ期シ自衛ノ途ヲ講セシムルコト

一五、弊風ヲ矯正スルコト
 干蘭盆、祭典等ニ際シ動モズレハ暴飲暴食ヲ事トシ爲メニ健康ヲ害シ傳染病蔓延ノ誘因又ハ原因タルコトアルヲ以テ之等弊風ヲ矯ムルコト

一六、運動競技身體ノ鍛練ヲ獎勵スルコト
 農ヲ業トスルモノ勞働ハ一方ニ偏スルニ依リ身體各部ノ完全ナル發達ヲ阻害セラルルコト少シトセズ之レカ平均ニ發達ヲ促サンカ爲メ祭典、休暇殊ニ冬期農閑期間ニ於テ適切ナル運動方法獎勵ノ要アリ

一七、蠅ノ發生防止驅除ニ關スル件
 農ヲ營ムモノノ生活ノ周圍ハ概ネ蠅ノ發生要件多キヲ免レサル結果之カ媒介ニ依リ健康障害殊ニ腸炎、下痢及消化器系傳染病發生蔓延ノ原因ナルコト大ナルモノアルヲ以テ之カ發生防止驅除方法ヲ講スルコト必要ナリ

一八、托兒所ノ設置ヲ獎勵普及スルコト
 農繁期ニ於テ幼兒ノ保護看過セラルル場合多ク爲メニ健康ヲ損フモノ又ハ死亡スルモノ少ナカラサルヲ以テ托兒所ノ設置ヲ獎勵普及シ幼兒保護上遺憾ナキヲ期スルコト

一、農村保健衛生改善ノ事タルヤ其ノ施設スヘキモノ枚擧ニ遑アラスト雖是カ實行ノ困難ナルヘキコトモ亦多カルヘシ由來本縣ニ農村保健衛生調査ニ關シ實査ヲ得タル状態ト及諸統計上ニ表ハレタルモノ等ニ依リ照シ且ツ積極的改善ヲ要スヘキ事項ヲ擧クレハ左ノ如シ

一、乳兒死亡ニ關スルモノ

本縣ノ衛生状態殊ニ乳兒、哺育方法ハ容易ニ傳統的風習ヲ脱シ得ス其ノ之レニ胚胎スル最近五年ノ縣下全般ニ乳兒死亡ノ如キハ總死亡ニ對シ三十八%ニシテ殆ント全國ノ最高率ヲ示ス故ニ是カ豫防方法ヲ按スルニ先ツ第一ニ産科衛生ヲ徹底普及シテ固有疾患ノ死亡ヲ除キ第二ノ幼兒保護法、育兒法ヲ母及將來母タルヘキ女子ニ適切ニ教授シ殊ニ氣候ノ變化ニヨル養護上ノ注意ト、栄養方法ヲ周知セシメテ乳兒死亡ノ最大原因タル消化器ト呼吸器トノ疾患ヲ減少セシムルニ在リ即チ其ノ方法ノ一端トシテハ

イ、産婆ノ分布ヲ圓滑ナラシムルコト

ロ、隨時各地ニ家庭婦人衛生講習會ヲ開キ主トシテ婦人ニ幼兒保護法並育兒法ヲ講習スルコト

ハ、活動寫眞又ハ印刷物等ニ依リ思想宣傳ニ努ムルコト

因ニ本縣ニテハ(イ)ノ事項ニ對シテハ毎年數個所ニ産婆講習會ヲ開キ以テ産婆ノ養成ニ努メツツアリ(ハ)ノ事項ニ對シテモ又隨時各處ニ開催シ若クハ印刷物ヲ配付スル等是カ涵養普及ヲ實行シツツアリ

二、寄生蟲驅除ニ關スルコト

寄生蟲ノ人體ニ及ホス影響ノ甚大ナルヘキハ贅言ヲ俟タサル處ニシテ殊ニ農村ニ於テ甚シ而シテ本縣ノ現状ヲ徵スルニ六五%乃至八五%ノ比率ヲ示ス亦等閑ニ附スヘカラサル事ニ屬ス故ニ是カ驅除ニ關シ比較的簡易ニ行フヲ得ル第一ノ方法トシテ小學校兒童ニ對シ行ヒ、順次一般人ニ涉ルヘキヲ唯一ノ方法ナリト認ム

因ニ本縣ニテハ斯ノ方針ノ下ニ現行シツツアリ

三、飲料水ノ改良ヲ圖ルコト

本縣ノ飲料水ハ概シテ井戸水ニ依ル、此ノ井水ニ關シ既往ノ水質検査ニ鑑ミルニ飲料ニ適セサルモノ六〇%以上ニシテ現在之等不適ノモノニ對シテ極力使用セシメサルニ努メツツアリト雖思想ノ幼稚ナル容易ニ慣習ヲ離レス無意ニ使用スルモノ多シ故ニ徹底的方法トシテ簡易水道ノ敷設ヲ